



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



2026年 4月30日

企業・団体名 明るい社会づくり高岡市民会議

代表者名 代表 成瀬宜史 (なるせ よしふみ)

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

1 取組み期間 令和7年4月1日～令和8年 3月 31日

## 2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 海のプラスチックごみを減らしきれいな海と生き物を守る！(1)</p> <p>【実施状況】 1)伏木港の魅力を知る。及び 伏木港 万葉埠頭 の おかっぱりポイントと現状を知る。 2)SDGs関連の新聞記事 から 学び知識を得る。</p> <p>&lt;実施状況&gt; ・能登半島地震の影響が続き、まだ、伏木港 万葉埠頭 など各所立入禁止区域が多く残り、活動が思うようにできませんでした。富山湾の海底の状態・魚等生物の状況を報道等で知り、更に、海洋を汚せない意識が高まり、明るい社会づくり高岡市民会議一同、できることから、目標に向かい進めているところです。</p>
2	<p>【目標】 海のプラスチックごみを減らしきれいな海と生き物を守る！(2)</p> <p>【実施状況】 3)海のプラスチックごみはどこから来るのか？ を良く理解して、 更に、プラスチックごみを減らす行動の具体策(ポスターの作製など) 及び 再資源化について整え 行動に移す。</p> <p>&lt;実施状況&gt; ・5月31日、北陸三県(福井・石川・富山)で構成している、北陸三県明社研究集会在、6年ぶりに石川県ホテルウェルネス能登路を会場に総勢70名の参加で行いました。その中、防災を中心とした内容のプログラムを基に会議が進められ、富山県と石川県から、災害ボランティア報告を行い、日頃の防災への心構えと備えについて説明を行い、各位理解を深めることができました。基調講演で講師の池田先生から「人と人とのつながりが地域を元気にする」の演題でご講演を受け、笑顔で楽しく、自分から褒める、生きる力を引き出す・つけさせる、若い人から学ぶ等の教えを頂き大変勉強になりました。 富山県から、高岡明社の「プラスチックごみを減らすための活動」として、「100万人のゴミ拾い」「7月5日の松太枝浜でのマイクロプラスチック回収活動」「ポイ捨て禁止ポスターによる啓発活動」などのSDGsの取組みを紹介して、出席者に共感頂いた次第です。 ・高岡市環境政策課に、マイクロプラスチック回収の網15基を提供しました。</p>
3	<p>【目標】 海のプラスチックごみを減らしきれいな海と生き物を守る！(3)</p> <p>【実施状況】 4)海のプラスチックごみを減らす活動に協力頂く仲間を募る。 (学校関係、企業・行政・自治会関係、協力団体、報道関係 など) 5)自治体SDGsモデル事業を参考に、活動資金について考え行動する。</p> <p>&lt;実施状況&gt; ・令和7年度も引き続き、100万人のゴミ拾い活動に参加の、高岡市立伏木中学校、富山県立伏木高等学校、富山県立志貴野高等学校、高岡龍谷高等学校を対象に、ポイ捨て禁止ポスターを募り、12点の優秀作品について、表彰及び展示を行い、市民等広く見て頂き、啓発活動に繋がりました。また、ポスターをチラシ化にし、富山県から頂いたポイ捨て禁止を訴えるチラシと合わせ、あいの風とやま鉄道高岡駅構内で、高岡市環境政策課のご協力も得て、通勤・通学者に配布し、ポイ捨て禁止を呼びかけました。 ・高岡市教育委員会を通じて伏木中学校で、教員各位にSDGs説明会を「豊かな心を育てる道徳教育と地域連携のあり方」と題して行いました。また、優秀作品の表彰式後に、SDGs説明会を行い、海洋汚染問題に理解を頂きました。 ・諸活動に資金等で限りが出てきている状況です。幅広く教えを頂きたいところです。</p>